

## ➤ イエス様の来られた目的

## 1. 町々で福音を伝える為

ルカ 4:42 朝になって、イエスは寂しい所に出て行かれた。群衆は、イエスを捜し回って、みもとに来ると、イエスが自分たちから離れて行かないよう引き止めておこうとした。

:43 しかしイエスは、彼らにこう言われた。

「ほかの町々にも、どうしても神の国の福音を宣べ伝えなければなりません。わたしは、そのために遣わされたのですから。」 44 そしてユダヤの諸会堂で、福音を告げ知らせておられた。

## ➤ ガリラヤで宣教開始

ルカ 4:18 「わたしの上に主の御霊がおられる。主が、貧しい人々に福音を伝えるようにと、わたしに油を注がれたのだから。主はわたしを遣わされた。捕われ人には赦免を、盲人には目の開かれることを告げるために。しいたげられている人々を自由にし、  
4:19 主の恵みの年を告げ知らせるために。」

1. ナザレで宣教開始：イエス様はご自分を旧約聖書の預言の成就「救い主」と宣言される  
ナザレでは拒絶される
2. カペナウムで宣教：イエス様は、聖霊の油注ぎにより、病を癒し悪霊を追い出された  
神の国の力を示されました。
3. カペナウムの人々；イエス様が離れて行かないように引き止めておこうとした。
  - ✓ 彼らはイエス様が救い主であることを認めました。
  - ✓ 人々はイエス様のこの世に来られた目的を知りませんでした。

ほかの町々にも、どうしても神の国の福音を宣べ伝えなければなりません。わたしは、そのために遣わされたのですから。」 44 そしてユダヤの諸会堂で、福音を告げ知らせておられた。

## ➤ サマリヤ宣教

ヨハネ 4:3 主はユダヤを去って、またガリラヤへ行かれた。:4 しかし、サマリヤを通って行かなければならなかった。 5 それで主は、ヤコブがその子ヨセフに与えた地所に近いスカルというサマリヤの町に来られた。

1. イエス様の異邦人伝道
  - a) ユダヤ人とサマリヤ人はつきあいをしなかった。ユダヤ人はサマリヤを避けて通った【4:19】
  - b) イエス様は、サマリヤにわざわざ目的を持っていかれた  
【サマリヤを通って行かなければならなかった】
  - c) イエス様は、サマリヤの女に福音を伝えられた

ヨハネ 4:25 女はイエスに言った。「私は、キリストと呼ばれるメシヤの来られることを知っています。その方が来られるときには、いっさいのことを私たちに知らせてくださるでしょう。」

4:26 イエスは言われた。「あなたと話しているこのわたしがそれです。」

## 2. サマリヤのリバイバル

ヨハネ 4:27 このとき、弟子たちが帰って来て、イエスが女の人と話しておられるのを不思議に思った。しかし、だれも、「何を求めておられるのですか。」とも、「なぜ彼女と話しておられるのですか。」とも言わなかった。28 女は、自分の水がめを置いて町へ行き、人々に言った 29 **「来て、見てください。私のしたこと全部を私に言った人がいるのです。この方がキリストなのではないでしょうか。」**  
30 そこで、彼らは町を出て、イエスのほうへやって来た:

## 3. 「今が収穫の時」

31 そのころ、弟子たちはイエスに、「先生。召し上がってください。」とお願いした。32 しかし、イエスは彼らに言われた。「わたしには、あなたがたの知らない食物があります。」33 そこで、弟子たちは互いに言った。「だれか食べる物を持って来たのだろうか。」34 イエスは彼らに言われた。「わたしを遣わした方のみこころを行ない、そのみわざを成し遂げることが、わたしの食物です。35 あなたがたは、『刈り入れ時が来るまでに、まだ四か月ある。』と言ってはいませんか。さあ、わたしの言うことを聞きなさい。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。4:36すでに、刈る者は報酬を受け、永遠のいのちに入れられる実を集めています。それは蒔く者と刈る者がともに喜ぶためです。37 こういうわけで、『ひとりが種を蒔き、ほかの者が刈り取る。』ということわざは、ほんとうなのです。:38 わたしは、あなたがたに自分で労苦しなかったものを刈り取らせるために、あなたがたを遣わしました。ほかの人々が労苦して、あなたがたはその労苦の実を得ているのです。』4:39 さて、その町のサマリヤ人のうち多くの者が、「あの方は、私がしたこと全部を私に言った。」と証言したその女のことばによってイエスを信じた。

天の父の御心は、イエス様の十字架による魂の救いと宣教にあります。イエス様は、霊の畑をご覧になり、サマリヤの人々が救われる事を考えてもいなかったユダヤ人の弟子たちに対して、サマリヤは、永遠の命を受け取る人々で満ちていると言われました。サマリヤの女はイエス様に会って証言して、リバイバルが起こりました。この宣教の働きこそが、霊の食べ物なのです。霊の目で世の中を見てみましょう。今、まさに魂の収穫の時が来ています。

## 1 イエス様を自分のもとにだけ止めていませんか？

他の人々に自分の受けた神様の恵と救いを伝えることなく、留めていませんか？

自分の家族が救われているからいいと思いませんか。

伝道の場所が制限されていませんか。

## 2. イエス様は、「他の町々にも福音を伝える為」に来られました

自分が受けた恵みと救いと癒しの証を回りの人に伝えて行きましょう。

家族だけでなく、隣人の救いの為に祈り、伝道しましょう。

横浜、沖縄、北海道枝教会の為に祈り、捧げ、仕えて行きましょう

## 3. イエス様は、異邦人サマリヤにサマリヤの女に福音を伝える為に行かれました。

サマリヤの女がイエス様に会った証しで町が救われました

貴方の救いの証を簡単に手短かにまとめておきましょう。サマリヤの女の証はとてもシンプルです

## 4. イエス様の食べ物、たべていますか？

「わたしを遣わした方のみこころを行ない、そのみわざを成し遂げることが、わたしの食物です

## 5. 今が刈り入れの時です。

「まだまだこの人は救われないだろう」「時間がかかる」「時がある」とか自分で決めていませんか。

今が魂の収穫の時であると心に留めて、良いときも悪いときも種をまき続けましょう。

Ⅱテモ 4:2 みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。